

特命

子ども地域アクター事業

2014年度 成果報告書



目次

- ★特命子ども地域アクタープロジェクトとは？(A4 カラー裏表)
- ★特命子ども地域アクター2014年度派遣先・活動実績(A3 カラー裏表)
- ★成果発表会の内容まとめ(A4 白黒)
- ★派遣先別活動一覧(A4 白黒)
- ★アクター参加状況(A4 白黒)
- ★その他資料(チラシ類)

- ★ このプロジェクトは、課題を抱える地域まちづくりの現場に中高生が「特命」で派遣され、自由な発想でまちの人たちと課題に取り組むものです。
- ★ 2012年度から神奈川県と協働で「新しい公共の場づくり事業」としてスタートし、2014年度から「かながわボランティア活動推進基金21協働事業」としてすすめられています。
- ★ かながわ子どもの地域社会参画推進会議が、神奈川県内の5つの部署と協働で行っており、この事業を支える「子どもまちづくり基金(仮称)」の設立を目指しています。

主催

かながわ子どもの地域社会参画推進会議

- ◆ NPO法人ミニシティ・プラス【事務局】
- ◆ 神奈川県県民局次世代育成部青少年課
- ◆ NPO法人シャーロックホームズ
- ◆ リスト株式会社
- ◆ NPO法人横浜プランナーズネットワーク
- ◆ NPO法人アクションポート横浜

今後この会議では、参加団体を増やしていきます

協働

- ◆ 県民局次世代育成部青少年課
- ◆ 産業労働局産業・観光部商業流通課
- ◆ 県土整備局都市部都市整備課
- ◆ 教育局指導部高校教育企画課
- ◆ 教育局指導部高校教育指導課

協力：横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース

編集：NPO法人ミニシティ・プラス

〒224-0001 横浜市都筑区中川 1-4-1-107

Tel&Fax 045-306-9004 minicityplus@gmail.com

この事業の一部は
よこはま夢ファンドを通して
株式会社FREEingに協賛
いただいています



特命

子ども地域アクター★プロジェクトとは？



ひとりで行動できる小学生もOK！

1. 公募で集まった中高生が・・・

4月～6月に
特命子ども地域アクターを募集します！

詳しくはミニシティプラスのHPで！



2. 横浜市立大学の「まちづくりのいろは講座」で学び・・・

3回連続講座を受講します



大学生にまじってまちあるき



まちあるきをふりかえるワークショップ



企画力ワークショップ



都市デザインの実例を学ぶ

3. まちづくり団体とお見合い会をして・・・

7月のお見合い会では、子どもたちの希望に沿ってマッチングをします



4. 地域の団体に派遣され活躍し・・・

8月～12月くらいまで、地域アクターが地域の大人たちと本気で企画から考え、実行します



何年もイベントができなかった商店街で経費ゼロのポップ钢管イベント運営



かなフィルのコンサートの企画をお手伝い



シナリオづくりとナレーション出演で水育イベントに新たな取り組み



三浦の食材を使ったドーナツコンテスト司会進行もアクターが!!

5. 成果発表会を開催！

受け入れたまちづくり団体の大人と、特命子ども地域アクターが本音でトークする成果発表会です。中高生たちを巻き込むとなにが起こるのか？ボランティア活動の枠を超え、企画からかかわった成果は？

成果発表会の様子はウラ面へ・・・



成果発表会のようす (2015. 1. 25)



BankART1929 で行われた発表



満席になった会場



団体からの報告



パネル展示



積極的な発言をするアクターたち



終了後の交流会

ボランティアだけじゃ
ものたりない!!

ボランティア以上の
経験ができた!
自分が成長できる場所

やってみたら
すぐ
おもしろかった!

みんなの役に
立っている
という実感があった!

塾や学校
だけでなく
いろんなことを
体験できた!

本気で地域を
よくしたい!!

大人とホンキで活動したい
中高生あつまれ!!

まちのことに
かかわりたかった!
そういうチャンスが
ここにはあった!

何年もイベントが
できないでいた商店街に
新しい風!
もっとがんばれると
励まされた

まとめきれないほどの
豊富なアイデアが出る
子どもたち!

受け入れ
まちづくり団体
からのコメント

平成26年度 特命子ども地域アクター

市川 姫菜	小5	住友 優介	中3
折谷 紗朋子	小5	福永 圭吾	中3
草郷 紗羅	小6	百崎 佑	中3
橋本 みなみ	小6	高崎 基	高1
山部 日花里	小6	矢野 淳奈	高1
サワフジヤムシエド	中1	加治 満理奈	高2
竹内 海羽	中1	川瀬 詩音	高2
直枝 遼菜	中1	松澤 海斗	高2
長岡 志織	中1	吉岡 彩香	高2
高崎 明日香	中2	石井 真央	高3
高橋 亜仁多	中2	黒川 遙	高3
三木 麻里奈	中2	黒山 幹太	高3
矢野 颯人	中2	内藤 圭祐	高3

- ★このプロジェクトは、課題を抱える地域まちづくりの現場に中高生が「特命」で派遣され、自由な発想でまちの人たちと課題に取り組むものです。
- ★2012年度から神奈川県と協働で「新しい公共の場づくり事業」としてスタートし、2014年度から「かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業」としてすすめられています。
- ★かながわ子どもの地域社会参画推進会議が、神奈川県内の5つの部署と協働で行っており、この事業を支える「こどもまちづくり基金（仮称）」の設立を目指しています。

主催

かながわ子どもの 地域社会参画推進会議

今後この会議では参加
団体を増やしていきます

- ◆ NPO法人ミニシティ・プラス【事務局】
- ◆ 神奈川県県民局次世代育成部青少年課
- ◆ NPO法人シャーロックホームズ
- ◆ リスト株式会社
- ◆ NPO法人横浜プランナーズネットワーク
- ◆ NPO法人アクションポート横浜

協働

- ◆ 県民局次世代育成部青少年課
- ◆ 産業労働局産業・観光部商業流通課
- ◆ 県土整備局都市部都市整備課
- ◆ 教育局指導部高校教育企画課
- ◆ 教育局指導部高校教育指導課

この事業の一部は
よこはま夢ファンドを通して
株式会社 FREEing に協賛
いただいています



特命子ども地域アクター 平成26年度派遣先活動一覧

実施日	実活動名	会 場	内 容
まちづくりのいろは講座&お見合い会			
2014/6/15	まちづくり団体による活動説明会&まちづくり基礎講座	関内さくらワークス	応募のあったまちづくり団体からのプレゼンとお見合い会、まちづくりの基礎講座
2014/6/21	まちあるきフィールドワーク講座	さくらWORKS	横浜市大の学生とまちあるき
2014/6/29	まちあるき・ふりかえり講座	関内さくらワークス	6月21日のまちあるきの振り返り講座
2014/6/29	企画カワークショップ	関内さくらワークス	企画をたてるときの考え方についてのワークショップ
2014/11/22	逗子の別荘邸園勉強会参加	逗子市役所	湘南邸園文化祭2014(湘南に残る邸宅・庭園や歴史的建造物を舞台にしたイベント)の見学
派遣先: (公財)横浜市男女共同参画推進協会 (4件)			
2014/7/14	フォーラム南太田第1回打合せ	フォーラム南太田	企画についての打ち合わせ
2014/8/8	男女共同 助け合いゆい	睦地域ケアプラザ	料理教室を行うこともたちとの顔合わせ(施設訪問)
2014/8/19	フォーラム南太田準備	シェアリーカフェ	料理のレシピブックづくり
2014/8/23	こどもたちとの料理教室	南太田	南太田の調理室で母子家庭の子どもたち向けの料理教室(こどもたちが料理が一人できるように、自立していけるようになる。外部の青少年たちとの交流のきっかけづくり)。
派遣先: NPO法人都筑民家園管理運営委員会 (4件)			
2014/7/13	第一回都筑民家園	都筑民家園	打ち合わせ
2014/8/9	第2回都筑民家園	都筑民家園	打ち合わせ2回目
2014/10/4	都筑民家園打合せ	さくらワークス(市大502)	NPOスタッフと準備
2014/11/2	都筑民家園イベント	都筑民家園	キッズ弓矢体験のイベントサポート。毎年行っているアートイベントでの新たなアイデアを出すということだったが、いちから別のプロジェクトを立てるところまではいけなかった。
派遣先: NPO法人夢キューブ (3件)			
2014/8/4	夢キューブ【第1回オリエンテーション】	山北町商工会	現地の商工会のみなさんと打ち合わせ、下見
2014/8/24	夢キューブ現地ロケハン	山北町	お化け屋敷やハロウィンイベントの舞台となる場所のロケハン
2014/10/25	山北ハロウィンタ市	山北町	古い体育館をつかってお化け屋敷を行い、イベントを盛り上げた。商店街店主仮装コンテストを行った。
派遣先: SUNSUNマルシェ (5件)			
2014/7/13	第1回: SUNSUNマルシェ現地訪問、顔合わせ	湘南海岸公園	まずは視察
2014/9/7	SUNSUNマルシェ打合せ	モトロソソ	マルシェのない日に現地の方と落ち着いて再度うちあわせ
2014/10/17	SUNSUNマルシェMT~FREEing	FREEing	マルシェでピクニックをするアイデアをミニシティ・プラスをサポートしてくれている企業のデザイナーさんに相談
2014/11/9	平塚SUNSUNマルシェ(平塚)終日	平塚	マルシェで楽しくピクニックしてもらうため、カラフルなテント地を切り抜くワークショップを行った。 こどもがあそべる「おかしつり」のお店を、子どもアルバイトを雇って開催。本部の中で子どもアルバイトを行った。当日子どもアルバイトをしてくれた人には、おかしつりを無料でやれるという特典をつけた。
2014/12/14	SUNSUNマルシェ平塚	湘南海岸公園	11月に作成した、ピクニックシートの増刷、貸し出し。貸し出しは人気ですべてが貸し出されてしまう状態。さらに今回は千本つりのこどものお店。本部でジュースを売るお手伝いをした。
派遣先: いせはら楽市楽座 (3件)			
2014/8/13	伊勢原現地打合せ(第1回)	花呉装	打ち合わせ
2014/8/24	いせはらイベント参加	伊勢原	楽市楽座の方たちが行うイベントに、いせはらクイズコーナーと記念写真館を開設。
2014/9/21	いせはら楽市楽座見学	いせはら	楽市楽座のイベントを見学、その後そのことをもとに企画提案

実施日	実活動名	会場	内容
派遣先: ほどがや人・まち・文化振興会 (5件)			
2014/7/6	第1回: ぐんどいち現地見学、顔合わせ、アイデア出し	保土ヶ谷駅西口	現場を見学したあと、打ち合わせ
2014/7/25	保土ヶ谷視察、ミーティング	花丸本舗	ほどがやの名物、せんべい工場、花丸本舗見学
2014/9/7	ほどがやぐんど市	ほどがや駅	ぐんどいちでの名物開発のためのソースせんべいトッピング実験、こどもアルバイトシステムの導入。
2014/10/5	ほどがやぐんど市	ほどがや駅	ぐんどいちでの名物開発のためのソースせんべいトッピング実験、こどもアルバイトシステムの導入。
2014/11/2	ぐんどいち	保土ヶ谷	ぐんどいちでの名物開発のためのソースせんべいトッピング実験、こどもアルバイトシステムの導入。
派遣先: 横浜都筑文化プロジェクト (5件)			
2014/7/28	都筑文化PJ	シェアリーカフェ	打ち合わせ
2014/8/21	文化施設プロジェクトMT	シェアリーカフェ	打ち合わせ、アイデア出し
2014/9/6	文化フォーラム(横浜都筑プロジェクト)	シェアリーカフェ	北部で文化活動をする方たちがあつまるフォーラムでの自己紹介シートの作成お手伝い、文化についての発表。
2014/10/5	都筑文化プロジェクトバスツアー参加	北部4区周遊	バスツアーに参加。レポート作成
2014/12/14	横浜北部文化フォーラム(都筑)終日	夢スタジオ	9月、10月の結果やその後の検索をもとに、地図に落とし込むワークショップを行った。
派遣先: 株式会社生活科学運営ライフ&シニアハウス港北 (3件)			
2014/7/23	ライフ&シニア港北打合せ	ライフ&シニア港北	打ち合わせ
2014/9/2	港北ライフシニア打合せ	ライフ&シニア港北	打ち合わせと地域の協力企業を訪問して、協賛の内容をチェックしたり、取材した→当日取材内容を掲示
2014/9/14	ライフ&シニアまつり 15時~17時半	ライフ&シニア港北	こどもたちがナポリタンのお店を出店。協賛企業にもらった景品やクーポンで宝くじを行い、好評だった
派遣先: 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団 (7件)			
2014/7/29	神奈川フィル打合せ	かなフィル事務局	打ち合わせ
2014/8/8	神奈川フィルハーモニーコンサート見学	みなとみらいホール	コンサート見学
2014/8/29	かなフィルコンサート視察	みなとみらいホール	コンサート見学
2014/9/8	神奈川フィルMT	かなフィル事務局	打ち合わせ
2014/7/29	神奈川フィル打合せ	かなフィル事務局	打ち合わせ
2014/10/11	かなフィル打ち合わせ	かなフィル事務局	司会者との最終打ち合わせ
2014/10/19	神奈川フィル・綾瀬市の寄付に対するお礼コンサート	綾瀬市	コンサートの裏方のお手伝いと、本番での「ありがとう」ボードの掲示。コンサートへのMC参加
派遣先: 鋼管通り商業会他 (8件)			
2014/7/17	第1回鋼管通り	鋼管通商業会	打ち合わせ
2014/8/6	小田銀座(鋼管通り)視察&MT	小田銀座	おまつりお手伝いのためのお見
2014/8/22	鋼管通(小田銀座)イベント①	小田銀座	こどもアルバイトシステム導入と、子ども向けのお店担当、ソースせんべい占いのお店運営。
2014/8/23	鋼管通(小田銀座)イベント②	小田銀座	こどもアルバイトシステム導入と、子ども向けのお店担当、ソースせんべい占いのお店運営。
2014/10/9	鋼管通商業会提案プレゼン	鋼管通り商店街	打ち合わせ、プレゼン
2014/10/18	鋼管通りMT	シェアリーカフェ	NPOスタッフと打ち合わせ
2014/11/6	鋼管通り	鋼管通り商店街	直前打ち合わせ
2014/12/13	ブツブツ鋼管通商業会(川崎)イベント終日	鋼管通り商業会	ぶつぶつ鋼管のイベント実施

実施日	実活動名	会 場	内 容
派遣先: 三浦半島 食彩ネットワーク (3件)			
2014/7/31	第1回:三浦食彩ネット打合せ	三崎港	現地見学(畑、お店、まぐろ加工工場、商店街等)と打ち合わせ
2014/8/28	三浦食彩ネット打合せ	シェアリーカフェ	打ち合わせ
2014/12/7	みうら食彩ドーナツコンテスト(三崎)終日	ミサキドーナツ	ドーナツコンテストの運営(司会、投票サポート、当日参加呼びかけPR等)
派遣先: 特定非営利活動法人シャーロックホームズ (5件)			
2014/7/29	NPOシャーロックホームズ打合せ	そごう	そごうデパートでの打ち合わせ
2014/8/1	NPOシャーロックホームズ打合せ	そごう	そごうデパート取材(デパートでの親子に優しい取り組み取材)
2014/8/21	NPOシャーロックホームズ打合せ	シェアリーカフェ	イベント準備作業
2014/8/26	そごうでのイベント準備&MT	そごう	イベント準備作業
2014/8/30	NPOシャーロックホームズ_本番_段ボールパーク	そごう	段ボールイベントでの大人の悩み相談室、記念撮影カメラマンのお手伝い、待ち時間緩和のためのクイズ作成
派遣先: NPO法人 海の森・山の森事務局 (6件)			
2014/7/12	水育イベントサポート&作戦会議	シェアリーカフェ	写真展と水育イベントの打ち合わせ
2014/7/31	海の森山の森打合せ	シェアリーカフェ	イベント後、子どもアイデアをだし、打ち合わせ
2014/8/6	海の森山の森シナリオ完成	シェアリーカフェ	水育イベントでの脚本の打ち合わせ
2014/8/25	海の森山の森MT	シェアリーカフェ	水育イベントでの脚本の打ち合わせ
2014/9/13	水育イベント(地蔵まつり)	みなきたウォーク地蔵	イベント本番、朗読出演、イベントサポート
2014/10/12	海の森山の森水育コンサート東戸塚	東戸塚西武	イベント本番、朗読出演、イベントサポート
派遣先: NPO法人 湘南市民メディアネットワーク (5件)			
2014/7/21	湘南市民メディアネットワーク学園祭	新堀国際芸術学院 (新堀ライブ館2階)	イベント見学、打ち合わせ
2014/7/27	湘南メディアネットワーク 藤沢宿映像イベント	新堀国際芸術学院 (新堀ライブ館2階)	イベント見学、打ち合わせ
2014/8/16	湘南メディアネットワーク 打合せ	湘南メディアネットワーク	打ち合わせ
2014/9/6	湘南メディアネットワーク 東海道シンポジウム取材	藤嶺学園藤沢中学校	東海道シンポジウム取材、撮影
2014/9/8	湘南メディアネットワーク 映像編集	さくらワークス(市大)	映像編集
総計 (72件)			

特命子ども地域アクター平成26年度 参加状況一覧

活動に参加したアクターの参加状況を一覧にまとめました

派遣先	実施日	実活動名	折谷	市川	山部	草郷	橋本	直枝	長岡	ジャム	竹内	高崎	三木	高橋	矢野	百崎	住友	福永	矢野	高崎	加治	松澤	川瀬	吉岡	石井	黒川	黒山	内藤	小計	
			紗 朋 子	姫 菜	日 花 里	紗 羅	み な み	遠 菜	志 織	シ ン エ ド	海 羽	明 日 香	麻 里 奈	亜 仁 多	颯 人	佑	優 介	圭 吾	淳 奈	基	基	満 理 奈	海 斗	詩 音	彩 香	真 央	遙	幹 太		圭 祐
			小 5	小 5	小 6	小 6	小 6	中 1	中 1	中 1	中 1	中 2	中 2	中 2	中 2	中 3	中 3	中 3	高 1	高 1	高 2	高 2	高 2	高 2	高 3	高 3	高 3	高 3		
講座 お見合い会 視察	6/15	お見合会&まちづくり基礎講座	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	20	
	6/21	まちあるきフィールドワーク講座	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	12	
	6/29	ふりかえり講座	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	22	
	6/29	企画ワークショップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
	11/22	逗子の別荘邸園勉強会参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		小計	3	3	3	2	3	1	3	0	0	2	2	3	3	2	1	2	1	2	2	4	3	3	2	3	3	1	2	59
(公財)横浜市 男女共同参画 推進協会	7/14	フォーラム南太田第1回打合せ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8/8	男女共同 助け合いゆい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	8/19	フォーラム南太田準備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8/23	子どもたちとの料理教室	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		小計	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9
NPO法人都筑 民家園管理運 営委員会	7/13	第1回都筑民家園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8/9	第2回都筑民家園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	10/4	都筑民家園打合せ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	11/2	都筑民家園イベント	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
		小計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	7
NPO法人夢 キューブ	8/4	現地オリエンテーション	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	8/24	夢キューブ現地ロケハン	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	
	10/25	山北ハロウィンタ市	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
		小計	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	14	
SunSunマル シェ	7/13	マルシェ現地訪問、打ち合わせ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	9/7	SUNSUNマルシェ打合せ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	10/17	SUNSUNマルシェMT~FREEing	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	11/9	平塚SUNSUNマルシェ本番	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	
	12/14	平塚SUNSUNマルシェ本番	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	
		小計	0	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	15	
いせはら楽市 楽座	8/13	伊勢原現地打合せ(第1回)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	8/24	いせはらイベント参加	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
	10/21	いせはら楽市楽座見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
		小計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	6	

派遣先	実施日	実活動名	折谷	市川	山部	草郷	橋本	直枝	長岡	ジャム	サフ	竹内	高崎	三木	高橋	矢野	百崎	住友	福永	矢野	高崎	加治	松澤	川瀬	吉岡	石井	黒川	黒山	内藤	小計	
			紗朋子	姫菜	日花里	紗羅	みなみ	遼茉	志織	シエド	海羽	明日香	麻里奈	亜仁多	颯人	佑	優介	圭吾	淳奈	基	満理奈	海斗	詩音	彩香	真央	遙	幹太	圭祐			
			小5	小5	小6	小6	小6	中1	中1	中1	中1	中1	中2	中2	中2	中2	中2	中3	中3	中3	高1	高1	高2	高2	高2	高2	高3	高3	高3	高3	
ほどがや人・まち・文化振興会	7/6	ごうどいち見学、打ち合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	7/25	保土ヶ谷視察、ミーティング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	9/7	ほどがやごうど市	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	11/2	ごうどいち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		小計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	11
横浜都筑文化プロジェクト	7/28	都筑文化PJ打ち合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	8/21	文化施設プロジェクトMT	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9/6	文化フォーラム本番	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	10/5	バスツアー参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12/14	ワークショップ参加	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
		小計	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	3	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14
株式会社生活科学運営 ライフ&シニア ハウス港北	7/23	打合せ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	9/2	打合せ、取材	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	9/14	ライフ&シニアまつり	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		小計	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
公益財団法人 神奈川フィル ハーモニー管 弦楽団	7/29	打合せ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	8/8	コンサート見学	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	8/29	コンサート見学	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	9/8	神奈川フィルMT	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	10/11	かなフィル打ち合わせ	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	10/19	綾瀬市お礼コンサート	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		小計	3	0	4	5	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
鋼管通り商学 会他	7/17	第1回鋼管通り	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	8/6	小田銀座視察&MT	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	8/22	鋼管通(小田銀座)イベント①	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	8/23	鋼管通(小田銀座)イベント②	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	10/11	鋼管通商栄会提案プレゼン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4	
	10/18	鋼管通りMT	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4	
	12/6	<準備>鋼管通り他準備	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	12/13	ブツブツ交換イベント	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
		小計	0	2	1	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	6	0	0	2	0	0	0	0	26	

派遣先	実施日	実活動名	折谷	市川	山部	草郷	橋本	直枝	長岡	ジャム	竹内	高崎	三木	高橋	矢野	百崎	住友	福永	矢野	高崎	加治	松澤	川瀬	吉岡	石井	黒川	黒山	内藤	小計	
			紗 朋 子	姫 菜	日 花 里	紗 羅	み な み	遼 菜	志 織	シ ン ジ ェ ド	海 羽	明 日 香	麻 里 奈	亜 仁 多	颯 人	佑	優 介	圭 吾	淳 奈	基	満 理 奈	海 斗	詩 音	彩 香	真 央	遙	幹 太	圭 祐		
			小5	小5	小6	小6	小6	中1	中1	中1	中1	中2	中2	中2	中2	中3	中3	中3	高1	高1	高2	高2	高2	高2	高3	高3	高3	高3		
三浦半島食彩ネットワーク	7/31	打合せ&視察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	8/28	打合せ、準備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12/7	みうら食彩ドーナツコンテスト	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7
		小計	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	11
特定非営利活動法人 シャロック ホームズ	7/29	そごうとの打合せ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	8/1	取材	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	8/21	打合せ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	8/26	そごうでのイベント準備&MT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8/30	段ボールパーク本番	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		小計	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17
NPO法人海 の森・山の森 事務局	7/6	水育イベントサポート&会議	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	7/31	海の森山の森打合せ	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8/6	海の森山の森シナリオ完成	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	8/25	海の森山の森MT	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	9/13	水育イベント(地藏まつり)	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	10/12	水育コンサート東戸塚	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		小計	0	0	6	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	19
NPO法人湘 南市民メディ アネットワーク	7/21	学園祭スタッフ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	7/27	藤沢宿映像イベント参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	8/16	打合せ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	9/6	東海道シンポジウム取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	7
総計			10	15	15	13	18	23	10	3	2	6	6	10	13	16	5	12	9	7	22	9	8	5	10	8	3	5	265	

特命子ども地域アクター 2014年度派遣先一覧

26名の「特命子ども地域アクター」が、14のまちづくり団体に派遣され、まちづくりの現場で企画段階から活動に関わり、地域やまちを元気にするために大人と一緒に取り組みました。

凡例 ★派遣先(派遣場所) 特命: 団体がアクターに特命で取り組んでほしいこと
実施: 実際に行ったこと
成果: 具体的な成果

(公財)横浜市男女共同参画推進協会(フォーラム南太田)

特命 親子が気軽に参加できるイベントを企画・実施することで、若い世代にフォーラムを知ってもらいたい

実施 母子家庭の子どもたちの料理教室を実施し、自宅でも料理ができるようにレシピノートをプレゼントした

成果 今回は「母子生活支援施設の子どもたちの料理教室」の実施により、フォーラム南太田が他の施設とのつながりを深めるきっかけとなり、その後の施設利用や交流につながった。アクターには、男女共同参画推進協会の社会的な意義を知ってもらうことができた。



NPO法人横浜民家園管理運営委員会(都筑民家園)

特命 毎年行われているアートイベントでの企画・運営に新たなアイデアを!

実施 ・キッズ弓矢体験の事前準備お手伝い
・当日運営協力
・参加者アンケートの実施

成果 イベントの参加費として、都筑の竹、鶴見の漁業の魚を表した「弓矢の達人」の旗を配布。アクターにとっては、旗を考える上で都筑の古代の歴史の勉強となった。



NPO法人夢キューブ(山北町商店街)

特命 山北駅前商店街のお祭りで「ハロウィンイベント」を企画・実施する!

実施 ・古い体育館でのお化け屋敷の企画
・商店街店主の仮装コンテスト
・フェイスペインティングの実施
・子どもアルバイトシステムの導入

成果 地元でない子どもアクターたちがやってきたことで、商店街に新しい風が吹いた。アクターの勢いとパワーが地域の人たちに驚きを与え、元気をもらった。



SunSunマルシェ(平塚市湘南海岸公園)

特命 毎月開催されるマルシェ会場で親子や子どもたちにもっと楽しんでもらえる企画の提案

実施 ・子どもたちが楽しめるゲーム感覚のゲームで、子どもアルバイトを実施
・長時間滞在してもらうための、ピクニックシートの提案

成果 いままではマルシェを訪れた方に、普通のブルーシートを貸し出していただけだったが、今回ワークショップを経て、カラフルなテント地のピクニックシートが生まれた。これらはすべて貸出されてしまう人気。訪れた子どもがお店のアルバイトを手伝うと、くじが引けることもアルバイトのシステムは大好評で、親子の新たな楽しみが生まれた。



いせはら楽市楽座(伊勢原市内)

特命 地元の事業者と青少年の交流を深めるための新しい企画を考える!

実施 地元のおまつりでの「いせはらクイズ」と記念撮影写真館の実施。その後、伊勢原商店街のトークショー「楽市楽座」を見学。なにができるかを考えた。

成果 「いせはら楽市楽座」とは、伊勢原の商人、住民等が直接繋がりをもち、街を面白くするための試み。おまつりではお手伝いボランティアで活躍できたものの、「楽市楽座」は、実施時間が平日夜のため、基本的に子ども参加が難しい。今回はアイデアを出すところまで、終了となった。



ほどがや人・まち・文化振興会(保土ヶ谷駅周辺)

特命 日曜の朝、行われている宿場朝市「こうどいち」を盛り上げるために何が出来るかを考える

実施 地元産のミルクせんべいを名物にするために新しい食べ方の提案。市の休憩コーナーで紙芝居。子どもアルバイトシステムも実施

成果 地元の子どもたちが当日、宿場朝市でアルバイトできる仕組みが、定着できそう。ボランティアという言い方はなく、アルバイト(お仕事)という言い方が、小さい子どもたちにウケル。



横浜都筑文化プロジェクト(シェアリーカフェ・都筑の文化夢スタジオ)

特命 地域文化勉強会の成果を誰にもわかりやすく発信する!

実施 横浜北部の文化を高めるために何が出来るか?大人と一緒に考えるワークショップなどに参加しました。

成果 文化活動をする大人の人たちのトークイベントで参加者の写真入りプロフィールづくりはとてわりやすく好評。北部エリアの文化施設や文化活動を地図に落とし込む作業では、アクターたちは「地域の大人の地元知識はすごい」と感動し、大人たちは「若い人たちが作業してまちづくりと一緒に考えることがこんなに楽しくモチベーションがあがる」とお互いが感動。



株生活科学運営ライフ&シニア港北(横浜市)

特命 老人ホームでのイベントを地域の中で根付かせるために出来ないか?

実施 地域のお店・企業の協賛で宝くじを行った。協賛店を取材し、手書きの地図で当日配布。イベント当日は、ナポリタンのお店を運営した

成果 マンネリ化しがちなイベントをアクターのアイデアで楽しくできた!宝くじの景品を出してほしいと近隣に依頼できたことから、施設が地域の店と知りあうきっかけとなった。子どもたちが来るだけで、イベントが明るくなり、お年寄りに喜ばれた。

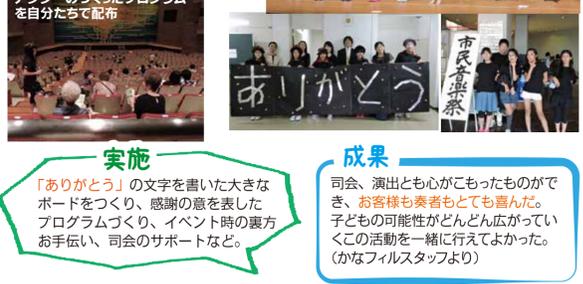


公益財団法人神奈川フィルハーモニー交響楽団(神奈川県)

特命 綾瀬市でのお礼コンサートで心のこもった演出ができないか?

実施 綾瀬市でのお礼コンサートで心のこもった演出ができないか?

成果 「ありがとう」の文字を書いた大きなボードをつくり、感謝の意を表したプログラムづくり、イベント時の裏方お手伝い、司会のサポートなど。



パート1: 鋼管通り商栄会他、川崎3商店街(小田銀座商店街)

特命 小田銀座商店街のイベントに人手が足りない!もっと地元の子どもにもボランティア参加してもらいたい!

実施 ソースせんべい占い、ヨーヨーつりなどお店を運営。遊びに来た子どもにもアルバイトとして参加してもらおうと運営

成果 当日参加の子どもをアルバイト参加させる、という仕組みが好評。アルバイトした子どもには商店街から小さなおみやげ。子どもアルバイト(30分アルバイトで掃除機かけ1コなど)は大人気で、地元の子どもたちと商店主が繋がった。



パート2: 鋼管通り商栄会(鋼管通り商栄会)

特命 まったくお金をかけないで、商店街のイベントを考えてもらいたい!

実施 鋼管と交換をかけたアツアツ交換イベントの企画・実施

成果 イベント当日はとにかくたくさんの方が訪れて自分の持ってきたアツアツと並んでいるアツアツを交換。イベントの歌もつくり、一日中流しました



三浦半島食彩ネットワーク(ミサキドーナツ三崎本店)

特命 「食」をキーワードに、三崎の商店街を活性化するためのイベントを企画・運営する!

実施 三浦の食材を使ったスイーツを子どもたちに提案してもらうため、広く公募し、三浦の食材を使った「ドーナツコンテスト」を実施。地元の子どもたちとコラボ。

成果 人気投票一位だった、地元の野菜・フルーツを使った「にんじんとオレンジのドーナツ」がミサキドーナツで商品化!確実に成果を上げた。地元の子どもたちも歌でイベントを盛り上げてくれた。アクターの子どもたちが積極的に参加していることに地元の子どもたちも刺激を受けた。

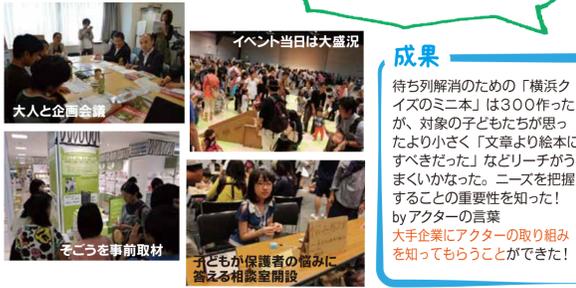


NPO法人シャーロックホームズ(横浜市)

特命 NPO法人がそごうパートとコラボで行う、親子のためのイベントでの企画提案

実施 待ち行列へ横浜クイズの提供。大人の悩み相談室、記念撮影スタッフなど担当。パートのサービスを取材したビデオを会場で投影して紹介

成果 待ち行列解消のための「横浜クイズ」のミニ本は3000冊だったが、対象の子どもたちが思ったより小さく「文章より絵本にすべかった」などリサーチがうまくいった。ニーズを把握することの重要性を知った! byアクターの言葉。大手企業にアクターの取り組みを知ってもらうことができた!



NPO法人海の森・山の森事務局(都筑区みなきたウォーク、西武東戸塚店)

特命 法人が「水育イベント」を行う子どもたちの心に響くよう、一緒に企画・実施する!

実施 写真から水育のシナリオづくり。新作「浦島八郎物語」が完成。水育・ビデオアルバムサイト「かながわの水物語」での出演。

成果 子どもたちに伝わりやすい物語の提案が次々と出てくる発想の豊かさに感動!アクターのナレーションも新鮮でよかった。プロの大人たちも子どもたちに触れられ、完成度の高い「水育」イベントが行えた。



湘南メディアネットワーク(神奈川県)

特命 商店街の紹介ビデオ制作などを子ども目線ですべてを、それをNPO映像祭へ参加し盛り上げてほしい。

実施 湘南メディアのイベントのお便りをインターネットにした上で、東海道シンポジウムに参加。参加者を紹介するビデオを作成。NPO映像祭に参加。

成果 はじめての体験ばかりのシンポジウムでのインタビューを経験。編集作業などを行った。「まちづくりをする多様な方に出会えたことで、世界が広がった」byアクター



2014年度 特命子ども地域アクター事業成果発表会

2015年1月25日 13時～15時 BankART studio NYK

オープニング～特命子ども地域アクター登場

司会：こんにちは。BankARTへようこそ。ただいまより2014年度特命子ども地域アクターの成果発表会を行います。私は今日、司会進行を務めます NPO 法人ミニシティ・プラスの事務局の岩室と申します。よろしくお願いいたします。

発表者紹介

それでは主役となる子どもたちを順番に紹介したいと思います。今日は BGM も子どもたちが選んでいるのでどんなのが出るのでしょうか。

それではまず小学生を紹介いたします。

横浜市立都筑小学校 5年生、折谷沙朋子さん

横浜市立東山田小学校 5年生、市川姫菜さん

横浜市立南山田小学校 6年生、山部日花里さん

横浜市立都筑小学校 6年生、草郷紗麗さん

横浜市立都筑小学校 6年生、橋本みなみさん

ここから中学生になります。

横浜市立荏田南中学校 1年生、直枝遼茉くん

横浜市立鶴見中学校 1年生、長岡志織さん

横浜市立中川西中学校 1年生、サフワンジャムシェドくん

関東学院中学校 2年生、高崎明日香さん

山北町立山北中学 2年生、三木麻里奈さん

山北町立山北中学校 2年生、高橋亜仁多さん

川崎市立東橋中学校 2年生、矢野颯人くん

横浜市立中川西中学校 3年生、百崎佑くん

藤沢市立鶴沼中学校 3年生、住友優介くん

中央大学附属横浜中学校 3年生、福永圭吾くん

次に高校生です。

横浜翠陵高校 1 年生、矢野淳奈さん

神奈川県立神奈川工業高等学校 2 年生、加治満理奈さん

神奈川県立神奈川工業高等学校 2 年生、松澤海斗くん

神奈川県立鶴見総合高等学校 2 年生、吉岡彩香さん

聖和学院高等学校 3 年生、黒川遙さん

高校生はちょうど受験だったり、こられない人が多くなってしまいました。

まず、事業の主旨について、NPO 法人ミニシティ・プラスの理事長、三輪から説明したいと思います。

事業説明

三輪：改めて、今日は皆様、ようこそお越しいただきました。ミニシティ・プラスの理事長をしております三輪と申します。本業は横浜市立大学でまちづくりを教えております。少し最初に堅い話なのですが、この事業に関して、説明させていただきたいと思います。

青少年の課題とまちづくり団体の課題をマッチング

この事業には、私たちが解決したいと思っている 2 つのポイントがあります。

まず 1 つは、今青少年の多くが、家や学校以外の場所、サードプレイスと呼ばれたりしている、そういう場所がなかなかなくて、青少年に社会性が足りないのではないかという話や議論があります
また、子どもたちは忙しかったり、少子化の中で友人関係が希薄になったり、あるいは同じ学校の友だちしか関係ができなかったりという課題があると思います。

一方で、まちづくり団体についての課題は、私たちが関わっている地域、まちづくりの現場というところでいえば、自治会町内会の活動や、あるいは今日お越しいただいているようなテーマを持って活動されている市民活動は、その内容によってかなり高齢化していたり、スタッフがいつも同じだったり、次世代につなげていくようなことができていないとか、あるいは活動自体が少しルーティン化してしまっている、マンネリ化している課題があると、いろいろなところでお話を聞いております。

マッチングから生み出される青少年の社会参画の機会

この事業は、2 つの課題をうまくつなげるということを出発点として始めております。簡単にいえば、ミッションを帯びた子どもたちが、まちづくりの現場に入ってもらい、インターンをするということです。そのことを通して社会の中に、子どもの地域社会参画を浸透させていくプログラムや、あるいはまちづくりをする方たちに青少年の可能性を知ってもらい、気づいてもらうような機会をうまく生み出していくというプログラムとして、始めました。

様々な団体の協働で進める事業推進体制

この事業は、もともとは神奈川県の新しい公共の場づくりモデル事業から始まっています。私ども NPO 法人ミニシティ・プラスが事務局となりながら、かながわ子どもの社会参画推進会議という組織で進めています。その会議メンバーで今日お越しいただいているのは、横浜プランナーズネットワークさん、株式会社リストさん、今日は団体の方にも入っていただいているのですけれども NPO 法人シャーロックホームズさん、神奈川県の青少年課さん。これらのメンバーは、青少年育成や、まちづくりの現場で支えていらっしゃる方、それからそういうことに関して非常に興味関心をもって動いていただいている企業の方、それから神奈川県、です。そういう方々と一緒に、かながわ子どもの社会参画推進会議という組織体を作りまして、新しい公共の場づくりに応募したというのが、この事業のきっかけです。横浜市立大学も、協働事業という形をとり、進めています。

今年度は県の基金 21 に採択していただき、補助金をいただき進めているのですが、将来は新しい基金をつくっていく形を考えておりまして、現在基金の勉強会も並行しながら進めています。

事業の流れ アクター募集から成果発表まで

この事業は、特命子ども地域アクターの養成、派遣、報告という流れで行います。地域アクターの養成とは、横浜市立大学の協力で「まちづくりのいろは講座」を行い、まず、まちづくりとはこんなことだよ、世の中のまちづくりや市民活動を支えている人たちはこういうことをやっている、という基礎的なことを大学生と一緒に勉強する機会を得ます。それから、それぞれのまちづくり団体に特命で派遣されるというプログラムになっております。夏から秋にかけてそれぞれの団体の特命事項を得て、活動し、今日はその成果報告会という形になります。

青少年の社会参画を社会が支える仕組みづくり

この事業が目指すところとして、子どもたちと地域のまちづくりの現場が一体で動いていくような、そういう社会の仕組みというものを編み出していきたいというのがまず 1 つです。

それからそれを助成金等に頼るのではなくて、いろいろな方々から活動の支援をいただけるような基金を作っていきながら活動を動かしていく仕組みづくりを目指しています。

今回は、よこはま夢ファンドを通して、株式会社 FREEing さんからもこの活動に支援をいただいています。

それでは報告会の方に入っていただきたいと思います。

司会：ありがとうございます。それではここからは団体の方に順番にご報告をいただきます。まず団

体の簡単な紹介をしていただき、アクターと一緒に何をやったかということをご報告いただきます。実際にどうだったのかという突っ込んだ話を、後半のトークの方でしていきたいと思っています。

横浜市男女共同参画推進協会

他施設との協力を深める

フォーラム南太田という南区にある横浜市の公共施設です。南区はなかなか下町で温かいところですが、生活が大変な方が多くいらっしゃいます。付近にはいろんな福祉施設ですとか、DV 被害など、いろんな困難なことを経て住んでいらっしゃる方のいる母子生活支援施設が、南区には 3 つあります。当施設の近くにもあるので、何か交流が持てないかなと思っていたところでした。アクターとの話し合いで、生活工房という調理室があるので、そこを活用して料理教室をすることになりました。事前に母子生活支援施設に子ども地域アクターとスタッフが訪問して、施設で暮らす子どもたちがどのような料理が好きなのか、何が食べたいのかを聞き、どのように生活しているのかなどを知り、交流をして、一緒にメニューを決定するところからスタートしました。

料理教室は 8 月に、横浜ナポリタンスパゲティと目玉焼きのせハンバーグ、デザートにチョコチップとかでデコレーションをしたアイスクリームを作るというのをやりました。アクター人たちが手づくりのレシピブックを作ってきてくれて、子どもたち全員にプレゼントしてくれました。みんなで料理を作って食べて、最後にはその施設で暮らしている 4 歳ぐらいから小学生ぐらい子どもたちから、今日どうだったか、何が楽しかったか、何を食べたかというのをアンケートの代わりに絵を描いてもらいました。

NPO 法人都筑民家園運営委員会

マンネリ打破を期待

都筑民家園は都筑区のセンター北駅から歩いて 10 分ぐらいのところにある横浜市の公営施設の一部です。そこで 3 年前から毎年秋の都筑アート月間で、コミュニティアートというのをテーマに活動しています。

その中のひとつ、遺跡公園でキッズ弓矢体験をお手伝いいただきました。弓矢自体は非常に子どもたちに人気のある催しなのですが、やはり 3 年目になるとだんだんマンネリ化します。それで新たなアイデアを地域アクターに期待しました。

実際に我々の方のキッズ弓矢体験というのを動かしているのは、竹林クラブという 50 歳から 70 歳ぐらいのメンバーでやっています。そのメンバーと一緒に弓矢を作ったり、当日の運営をしました。当日の運営の中で、受付でアンケートを書いてもらう、という提案がありました。そうすると、面白かった、難しかった、いろいろな意見が書かれ、子どもたちがただ参加するだけではなくて、感想もいただけるようになりました。弓がうまく当たった人に弓矢の達人という称号を渡すというアイデアも実現しました。

NPO 法人夢キューブ

既存のイベントにアクターが入り、楽しさ倍増

私たち夢キューブは、青少年の育成を活動の柱のひとつにしています。拠点としている山北町は、神奈川県西の位置で、町全体の人口は一万一千人です。広さは横浜市と同じくらい。本当に自然豊かな、そして地域の方も子どもたちを宝のように大事にしてくれる、そういうふうな町です。山北町自体は、やはり子どもたちにいろいろ来ていただいたり、そしてそこで魅力を感じてもらったりということに、とても積極的にしている町だとは思いますが。年 2 回商店街で行っている「夕市」に参加していただきました。商店街も昭和の非常に香りの漂う商店街でハロウィンをやることになり、アクターには築 50 年近い山北体育館でハロウィンパーティのお化け屋敷を企画してもらい、倍増した楽しいイベントになり、当日は、とても賑やかになりました。

もともと夕市は、山北の子どもたちが子ども商店街で参加していた経緯もあり、子どもたち自身が商店街に繰り出して、大人の人（商店街の人たち）と子どもたちが楽しくするイベントをいろいろプロデュースし、定着をしてくれていたところ。だからアクターの方もすんなり入っていただけたのではないかとはいっています。商店街の方では、「夕市ハロウィン子どもお買い物券」（商店街で使える 300 円相当の券）を手伝った子どもたちに発行してくれました。

SunSun マルシェ

イベントで長く滞在できるように「ピクニックシート」を改善提案

SunSun マルシェは、地域のおいしいものや手づくり品、家具やジャムなどいろいろなお店が出店する月 1 回開催するマーケットです。その場所で、少し親子の人たちや子ども連れの人たちのもっと長い時間マルシェを楽しんでもらいたいという特命事項でした。

これまで普通のブルーシートをレジャーシートとして貸し出しをしていました。それをもう少し楽しくピクニック気分を高めるために、デザイン化できないか、という提案をしました。そして切りっぱなしにしてもOKのテント用の厚手のビニールシートをいろんな形に繰り抜くワークショップも行いました。このシートはとても人気が高くて、今後もマルシェで活躍してもらおう予定です。

それともう 1 つ、子ども屋台（お菓子釣り、千本引き）を実施しました。そこではこどもアルバイトを雇い、楽しんでもらいました。

いせはら樂市樂座

樂市イベントへの参加は良かったが夜の企画は難しい面も

私どもの方は神奈川県県央、それから湘南にまたがる神奈川県伊勢原市というところで、人口が 10 万人ぐらい。男女比の方は、大体同じぐらい。人口は横ばいという町です。1 番のシンボルは、丹沢山脈の関東寄りにある大山です。昔から大山詣でといいまして、いろんな方々が大山を目指して来られたという歴史文化があります。

いせはら樂市樂座は町の魅力を皆さんと共有しようということが大きな目的で、発足しました。町

の中で魅力的に活動されている方、あるいは魅力的なお店や製品について発表してもらうトークショーです。それにより伊勢原の町を皆さんによく知ってもらい、外部に向かって発信していきましょと、そんな目的をもった「座」と、トークイベントに参加した40店舗のお店が伊勢原でのイベントのときに開く「市」を行っています。

今回アクターは、樂市で、お寺でのイベントのお手伝いに参加し、座であるトークショーの本番に高校生が1名が見学参加、というところまでしかできませんでした。夜のイベントで場所も離れていたため、なかなか中学生の参加が難しかったのが現状でした。

ほどがや人・まち・文化振興会

子どもアルバイトの仕組みは続けたい

毎月第1日曜日、午前10時からお昼までに行われている「ごうどいち」に子どもたちとそのお母さんたちにもっと知ってもらい、応援してもらえないかということでこの事業に応募しました。

今回はお天気の運が悪く、雨で流れて中止になったり、雨続きで皆さん雨の中、寒い思いをして参加してもらいました。

企画としては、子どもたちをもてなすための紙芝居、あと駄菓子屋さんを子ども店員で運営、そその屋台の中で子どもアルバイトを募集しました。たまたま通りかかって遊びに来た子どもも、アルバイトに引き込まれて、子ども店員で参加して、商店の人たちとも仲良く話しができました。(子どもアルバイトは続けていきたいと現場で話しました)

また、地元産のミルクせんべいの新しい食べ方を提案して名物にしたらどうかという試みをしました。まずは工場見学し、食べ方としてソースのトッピングを何種類も提案し、試食してもらい、人気投票をしました。アイスやジャムをはさんたり、カレーチョコなど、あり得ない組み合わせもありました。

横浜都筑文化プロジェクト

地域の文化情報発信に若い視点を取り入れる

横浜北部とは、都筑区、緑区、港北区、青葉区あたりを指します。横浜の海側ではトリエンナーレをはじめ、大きな文化イベントが盛んに行われているイメージがありますが、北部も本当はたくさん文化があります。横浜都筑文化プロジェクトは、それらを可視化して、北部の文化度を上げ、その情報を発信していこうと1年前に出来たばかりの任意団体です。

去年は3回事業を行いました。1回目は北部4区の文化活動をする方たち集まってもらい、ライトニングトークイベントを開催。アクターの皆さんには、来場者の写真を撮り、プロフィールにしてその場に貼っていくアイデアをいただき、盛り上げてもらいました。2回目の北部4区をまわるバスツアーに参加してもらい、レポートを書いてもらいました。3回目は、1回目、2回目で知った活動や活動拠点を地図に落とし込むマップ作りを行い、最後に「北部4区で文化をもりあげていくためになにができるか？」の意見を出し合いました。このプロジェクトのメンバーが50代~70代なので、ぐっと平均年齢を下げ、若い視点の意見が積極的に出て、本当によかったです。今後活かしていきます。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

コンサートにイベントの盛り上げを取り入れて和やかに

神奈川フィルは、昨年の4月に公益財団法人として活動再開しました。その2年前まで公益財団法人の申請に向けて、さまざまな活動を通して、神奈川県知事をはじめ、神奈川県の皆さんはもちろん、企業ですとか、個人の皆様からたくさんの寄付をいただきました。そのお礼に神奈川県内の33市町村全てにお礼コンサートを行うという活動を昨年からはじめました。

今回は、綾瀬市の綾瀬市民文化祭で、かなフィルがお礼コンサートで出演するコンサートの内容について、アクターの皆さんに企画の一部を考えてもらい、当日はコンサートのお手伝いをしていただきました。コンサートというのはこのようにでき上がるということをアクターに知ってもらえる良い機会になったとも思います。

アクターの企画で「ありがとう」というお礼のパネルを作ってもらったり、ちょうどハロウィンの時でしたのでマントを作って、少しイベントっぽくしていただいて、すごく会場が和やかになって大変楽しい時間だったと思います。私どもの楽団員もすごく良い機会だったと、またやって欲しいと言われました。

鋼管通商栄会～小田銀座

「子どもアルバイト」でお祭り参加の楽しみがアップ

鋼管通の会合に来ていたとなりの商店街「小田銀座」でもイベントを行いました。夏祭りに何かやってみてくれないかという話があって、2日間のお祭りに出店しました。アクターはソースせんべいを割ったソースのシミを見ながら占うという、何の信憑性もないのが楽しい「ソースせんべい占い」や、お菓子、ヨーヨー釣りなどのお店を出し、当日遊びに来た子どもたちを子どもアルバイトとして巻き込みました。アルバイトが楽しくて、2回も3回もアルバイトをやりたいがって、ずっと1日中アルバイトをして子もいました。アルバイトの子たちのお礼は、商店街のさつま揚げ屋さんの小さいさつま揚げ。商店街のお祭りに自然に子どもたちが巻き込まれました。

鋼管通商栄会

大人たちのアイデアが子どもたちの企画で実現化して盛況に

鋼管通り商栄会は川崎市の川崎区で海の近くです。昭和30～40年代非常に盛り上がった商店街なのですが、日本鋼管の衰退とともに商店街およびまわりの町工場がなくなっていき、衰退していつている商店街です。昔はかなりイベントもやっていたのですが、会員さんの高齢化に伴い、ここ8年くらいは何もしていませんでした。そんな中、神奈川県観光商業流通課から、何かやりましょうといういろいろお話をしていく中で、昔、鋼管通商店街の中にブツブツ交換屋があったことがわかり、それはおもしろいのではないかということになり、それをテーマに、アイデアを出しあってもなかなか良いものが思い浮かばず、そんな中、アクタープロジェクトのお話があり、今回のブツブツ交換のイベントを企画してもらいまし

た。

システムとしては、自分が大事にしていたけど使わなくなったものを持って来ると、子どもたちが、これは1ポイント、3ポイントと査定します。それでポイント券をお渡しして、他の人が出したものと交換するしくみです。単純にそれだけですけれども、考えてみるとお金が1円もかからないイベントなのです。3ポイントのものが欲しいのに、ポイントが足りなかった場合（子どもの査定による）、子どもであればここでイベントのお手伝いをすると1ポイントとかもらえるようにしました。15分だけアルバイトをして1ポイントもらって欲しいモノをゲットするとか、そういうようなことが行われました。

子どもたちと一緒に作った銅管通でブツブツ交換の曲も当日は流れ、当日は1000点ぐらいの商品が集まり、すべてアクターの方々の運営で行われました。8年間出来なかったイベントがこどもたちの力で出来て盛り上がり、商店街も地元の人も「次いつやるの？」と喜び、またやらなくちゃ、と思っています。

三浦半島食彩ネットワーク

地元のお店が協力して魅力発信イベント開催と新商品を開発

三浦半島食彩ネットワークは、三浦半島で農業をされている方、漁師をされている方、あとは地場の食材を使って食堂をやられている方など、三浦半島で食に携わる人たちで作られた団体です。

今回特命事項として、この三浦の食をキーワードに商店街を活性化する企画をアクターの人たちに考えてもらえないか、とお願いをしました。まず三浦の町を知ってもらうためにアクターに三浦の町を視察してもらい、野菜の直売所や、畑、魚市場、マグロの出荷場を見てもらい、商店街も見てもらいました。三浦の商店街というのが、港町にありますが、平日はなかなか人が少ないところなのです。その中で、ミサキドーナツというドーナツ屋さんがあり、アクターの子どもたちからの提案で、三浦の食材を使ったドーナツレシピコンテストを開催しました。

募集期間が1ヶ月と若干短かったのですが、地元三浦や横浜、川崎、藤沢などから35通の応募があり、最終審査で残った5つのドーナツのレシピをミサキドーナツの方で作って、当日試食会を兼ねた、コンテストイベントを行いました。

ミサキドーナツの2F会場は満員となり、地元関係者での審査員の審査で、キャベツクリームドーナツが優勝、にんじんとオレンジを使ったドーナツが会場の人気投票では1番でした。そのほかにも、ひじきやカリフラワー、三浦だいこんをつかったドーナツがありました。タウンニュースや横須賀経済新聞、JCOMなどのケーブルテレビからも取材があり、大きくプロモーションできました。そして今回、にんじんとオレンジを使ったドーナツの、ミサキドーナツでの商品化が決まりました！

NPO 法人シャーロックホームズ

企業イベントにもアクター活躍の場が

私たちの団体は子育て支援、青少年支援、まちづくりをやっている団体で、横浜市西区に拠点があります。昨年も私たちの子育て、親子向けのイベントにアクターさんにご協力いただいたのですが、今年はそごう横浜店の9Fの新都市ホールで、段ボールで公園を作り、そこで親子に楽しんでもらうという、段

ボールパークイベントに来てもらいました。

最初のそごう横浜店の方々と会議では、企業の大人は全員スーツ。慣れない雰囲気の中にアクターの4人が飛び込む形になって、はじめはアクターの子どもたちも発言ができにくいような雰囲気がありました。最終的には、子どもが遊んでいる間に保護者に対して「大人の悩み相談室」をやってくれたり、親子で写真を撮るときにシャッターを押しますよ！と会場を回る、記念撮影のカメラ係をしてもらったり。また、長蛇の列の待ち時間緩和のために、アクターが作った横浜クイズのミニ冊子を配って、クイズを解きながら待ってもらうなどをしました。また事前にそごう取材し、主に子育てに役立つそごう横浜店のお奨めポイントのビデオを作ってもらい、会場で投影しました。

NPO 法人海の森・山の森事務局

子どもたちの発想に任せることで、オリジナルの物語がすごく面白くなる

私たちは横浜港北区の菊名が拠点です。神奈川県の水、私たちが使う水道の水をキャプチャした環境活動を展開しています。代表である私（豊田直之氏）は写真家で、山北町だったり、伊勢原の山奥のずっと奥の水源地に行ったり、横浜の水となっている道志の方にも行き、写真と動画を撮り、そういった映像を見せながら水資源を大切にしたいと、環境活動をしています。今日司会をされている音楽家、岩室さんにもお手伝いいただき、音楽と映像のコンサートなどいろいろと展開をしています。昨年、ビジュアルコンサート以外にさらに欲張って、子どもたちにもわかりやすいデジタル紙芝居という読み聞かせの部分を入れた新しいコンテンツを作ってみようと考えました。水の大切さを伝える「水育」をコンセプトに、その物語を作ろうとしたとき、アクターを派遣していただき、企画段階から関わっていただきました。

当初は、子どもたちに一体どんなことができ、どんなことが考えられるのかというのが非常に未知数で、様子を見ながらやっていこうと手探りの部分もあったのですが、実際に企画会議の第1日目から、そんな心配はまるっきり必要ないという結論に達しました。どんどん子どもたちの目線、子どもたちの発想が出てきて、私たちのメンバーの中の脚本家が、最終的にまとめ、仕上げたのですが、何度も企画会議、それから脚本の内容の会議をやって、「浦島八郎物語」が生まれ、9月に都筑区のキャンドルナイトと連動して初披露し、10月に西武の東戸塚店で正面玄関でも行いました。すごいおもしろいものができて、大成功でした。

（浦島八郎物語とは・・・浦島太郎の孫のまた孫のそのまた孫である16歳の浦島八郎が海の家でバイトをしているところ、つい亀を助けてしまい竜宮城に連れて行かれるのだけど、竜宮城に行ったところ、結構海が汚れていてショックを受け、陸に戻って奮起し、NPO法人を立ち上げて海をきれいにするというストーリー。声での出演もしてもらいました）

湘南市民メディアネットワーク

子どもたちに体験の場を提供することができた

もともと子どもたちと一緒に映像作りをするということを柱に据えて、まちや市民活動の映像を撮って

いる団体です。こどもアクターに映像を撮ってもらい、まちを紹介することを実験的にやってもらおうとこのプロジェクトに参加しました。中学校の就労体験で、市内の3つの中学校から当団体に来てもらい、体験をしてもらったりする中、その参加者の中学生がアクターに参加するきっかけにもなりました。今年はなかなかぴったりの取材イベントがなく、藤沢市で行われた東海道シンポジウムにかかわってもらいました。そのイベントで、藤沢市の昔の映像を上映するという上映会のお手伝いで来てもらい、9月に東海道シンポジウム藤沢宿大会を取材して記録の映像を撮って編集も体験してもらいました。

大人 VS こどもトーク

司会：もともと湘南市民メディアの活動をしていて、今回アクターに参加した住友さんに聞きます。学校は好き？

住友：好きなんですけどつまらない。

司会：住友くんは、独自の世界を歩みたいんだよね。それでこちらに参加したりして、映像を撮るのが好きだったよね。湘南市民メディアに参加したのはどうして？

住友：職業体験がきっかけですけど、ゲームの実況動画を作りたいと思ってそれで湘南市民メディアさんの力を借りたいと思いました。

司会：ではアクターには何で参加することにしたの？

住友：メディアさんにやってみる？と言われて。おもしろそうだし、やってみようかなと思って。

司会：住友くんはおもしろそうだと思うのだけど、他の友だちはあまりおもしろそうだと思うなかったのかな？誘ってくれたのよね。

住友：勉強に励みたいということでした。

司会：どういうところがおもしろそうだったのかと、実際おもしろかったかどうかというのを教えてくれる？

住友：会ったことのない人たちと話すことは嬉しい。僕、新鮮が大好きなので、お寿司も大好きです（笑）。実際にやってみて、みんなの役に立てているかなって。役に立てて良かったです。

司会：SunSun マルシェにも参加してくれたのよね。

住友：はい。楽しかったです。

司会：SunSun マルシェは平塚だったけど、家は藤沢だよね？平塚には良く行くのですか？

住友：SunSun マルシェに行くまで行ったことなかったです。

司会：初めて行ったのですね。全然知らないところで知らない人と楽しく過ごせたんだね。またいろいろやってくれるのかな？ 住友くんに私から次の日程が決まったよってメールで連絡すると、返って来るメールが「仕事ですか？」って。「仕事ですよ。」っていうと「わかりました。張り切ってやります」と。仕事としてとらえてくれて、本気でやってくれて本当にありがたいなと思いました。

司会：湘南市民メディアに参加した松澤くんはこの活動に参加しようと思ったのはどうして？

松澤：映画作品を取り扱っている団体さんということで、ここに行きたいと思いました。

アクターに行きたいと思ったのは、今できることをやっておきたいなと思ったので。

僕は今、学校は定時制に通っているのですが、それだと普通の高校よりも授業数が少ないということと、下に見られがちというのがあるので、それを補いたいと、他の人よりも別の面で経験して、穴埋めをしたいなと思って参加しました。

司会：参加してみてどうでしたか？

松澤：想像していたよりもいろいろな経験ができて、そういう面ではすごく楽しかったです。（他の活動は）なかなか予定があわなくて。それからドミノ倒しみたいにならずずっと行かれなかったです。

司会：湘南市民メディアの活動では、市長さんにもインタビューできたりして、頑張ってくれました。今までインタビューをしたことありましたか？

松澤：なかったです。初めてなのですごく緊張しました。

司会：そうなんだ。これを機に将来はインタビューになろうとかそういうことはない？

松澤：やってみたいなという感じはあります。

司会：おもしろいと思ってくれた？

松澤：はい。すごくおもしろかったです。

司会：良かったです。ありがとうございます。何か言いたいことは他にないですか？

たとえば、前に話を聞いていた時には、もうちょっとマメに活動したかったと言っていたと思ったけど、途中でうまく日程があわなくなったりして、なかなか参加できなかったよね。どうしたらもっと参加できるようになるかな？

松澤：積極性を出す。

司会：自分が？こっち側の問題点として、大人の方に何か言いたいことはありませんか？

松澤：そうですね。いろいろとご都合がありますから。大人だからというよりは、住友くんみたいにどんどん積極的に出して行って、今度いついつ何かありませんかって、ずうずうしいぐらいに

メールで聞いていくのも良いかなと。

司会：本当だね、そうしてくれると私もすごく嬉しいです。そんなことを松澤くんの口から聞くと私は思わなかったです。いつも話し掛けてもぼそぼそって感じだったので、そんなに積極的なところがあって嬉しいです。ありがとうございます。

司会：次は鋼管通に参加してくれた人は誰ですか。結構いますね。企画に参加したのは、加治さんと、ももちゃんと直枝くん。それから当日参加したのが、女子たちも含めて矢野くんも、たくさん参加してくれたのですが、まず商店街の人たちと話したりしてどうでしたか？

直枝：最初に商店街を見に行った時に、あまり活気がなかった。みんなが乗っかってくれるのかな思った。やってみたら本当に大成功で、1000点ほどの商品、ブツがきたりして、すごい達成感もあったし、いろんな方に幸せに思えてもらえたら嬉しいです。

司会：直枝は何年生でしたっけ？

直枝：中一です。

司会：では、みなみちゃんどうでしたか？

橋本：私はイベントの準備の前日に初めて鋼管通に来て、そのときは静かな町だと思ったのですが、イベント当日にはとても人が来てくれて、何回も何回もブツを交換しにやって来てくれる人もいて、そういうのを見てこのイベントを楽しんでいるのは、とてもやりがいがあったし、うれしかったなあと思いました。

司会：商店街の人たちは思った以上に、商店街の人たち自身が非常に喜んで下さって。今日来てくれてる阿部さんはお若いのですが、商店街の人たちって結構年齢が高いつて聞いたのですが、何歳くらいが平均なのですか？

鋼管通商栄会：多分平均は70歳を超えていると思います。若手がちょぼちょぼなので。

司会：そんな中で商店街のみなさんが、イベントを終わったあとに、すごい大きなケーキを焼いて下さったり、ご飯は家で食べると言って来たのに、アクターのために差し入れがボンボン出てきて、中華がずらあつと並んだあと、さらにお弁当がひとりずつに支給されて、こんなに食べないよねっていうくらいたくさんもてなしていただきました。

鋼管通商栄会：終わったあとに商店街のいろんな人に聞いても、今までアピールしたくてもそういう機

会がなかったので、イベントとともに商品をアピールできたこと、またお客さんがたくさん来てくれたってということに関して、たいへん喜びました。商店の人もやる気を出して協力してくれて、盛り上がりました。

司会：多くの団体の方たちからの意見で、子どもたちとの連絡のとり方とか、大人と大学生も入っていて、その位置関係が良くわからないという問題がある、と聞いています。もう少し連絡をとれたら良いのとか、誰に何を言って、どれくらい子どもたちに直接言ったら良いのかわからないというような話がありました。

その辺に関してどなたか発言していただけますか。特に遠いところですね。山北とか、三浦とか伊勢原もそうなのですが、なかなか一回一回行くのができなくて、メールでやりとりをしたり、そうすると私たちが子どもに連絡して、子どもたちから私たちに来ると、やりとりがうまくいかない部分があったと思います。三浦などそれが悩みの種だったと思うのですが、もう少し改善する方法はどうしたらというアイデアがありますか？

三浦半島食彩ネットワーク：百崎くんなんかは Facebook をやっているのでもやりとりできましたが、申し込んだ団体としてはアクターたちがどんなことを考えて、どのように会議や打ち合わせをしているのかというところが、やはり見えなかった。我々は初めて参加したのですが、どういふプロセスでこの企画自体が進んでいくかというのが見えなかった部分もありました。

司会：それで当日までドキドキされた部分があったということですね。

三浦半島食彩ネットワーク：そうですね。ですので、任せ切って良いものか、それともこちらでどこまで用意をすれば良いのかというところがちょっと難しいところだったかもしれません。

司会：もしかしたら私たち事務局の方の反省としては、子どもたちとのこちら側でのやり取りの打ち合わせが入るごとに、そちらに今こんなことを話し合っただけでここまで進めました、子どもたちからこんな意見が出ました、というようなことを随時報告するような細かさが必要なのかもしれないということですよ。

三浦半島食彩ネットワーク：それがあればその状況や、イベントをこんなふうにやろうと考えているのかなというのがわかるかもしれない。

司会：そうですね、それは他のところでもいろいろあって、南太田フォーラムさんなんかも、なかなか子どもたちがせつかくのイベントでも日程があわなくて参加できないってことがあって、なんでそんなに忙しいのって、私はみんなに聞くのだけれど。矢野淳奈ちゃん、なんでそんなに忙しいの？

矢野：土曜日に学校がありまして、その後バレーのスクールに通っているのですけれども、そのスクー

ルが、学校が終わってからもう始まっているような感じで、そこから 5 時、6 時までやっているの、集まれないということです。

他にも演劇部もやっています。

司会：演劇部もやっていて、それでアクターもやっているんだね！みんなの中で、アクターというのは、勉強とか部活、習い事などの中でどのぐらい重要なのかなというのが、ちょっと知りたいのだけど、直枝くんはどうですか？

直枝くんは何でたくさん聞いているかという、皆さんにお配りした表を見るとわかるのですが、直枝くんが最も参加回数が多いのです。かなりのイベントに参加で昨年 23 回です。第 2 位は加治さんです。

直枝：アクターの活動はすごく楽しいし、いろんなところに行って、いろんな人と関わっていろんな体験ができるのでとてもおもしろいと思っています。そういう意味でもどんどん積極的にいきたいという思いで、活動に参加させてもらっているのですが。部活は卓球部に入っているのですが、部活がすごくゆるくて言ってしまうと、私はすごく「暇」なので。

活動もおもしろいし、自分も暇なので、これはもう行くしかないなということで来させていただいています。

司会：みなみちゃんもいっぱい参加したけど、いくつか印象に残った事を教えてください。

橋本：私が印象に残ったのは、海の森・山の森事務局さんとのデジタル紙芝居です。夜に行なったのですが、ストーリーの終わりに玉手箱から光の玉が飛び出してくる演出をしました。その人の光の玉がキラキラ光っていて、小さな子どもたちもそういう光の玉を持って嬉しそうにしている光景がすごく印象に残っています。

司会：鋼管通も参加してくれたよね。みなみちゃんのいる町には商店街がないということだけどそれについて話してくれる？

橋本：私の住んでいる都筑区には商店街がないので、鋼管通の商店街で初めて商店街というものを見て、体験したのですが、イベントで大人も子どもも、積極的に参加している笑顔や楽しそうなようすを見て、人と人が近いというか、商店街って良いなと思いました。

司会：橋本みなみさんは、どうして、こういう活動に参加していますか？

橋本：家にこもっていないで、もっと違う人と話をしたり、いろいろなことを体験したいと思ってこの活動に参加しました。

司会：草郷紗羅ちゃんは妹さんが三浦のドーナツコンテストで優勝しちゃったね。キャベツのクリーム

のドーナツを作ったのは妹さん。この活動に参加したのはどうしてですか？

草郷：去年もやったのですが、チラシを見ておもしろそうだなと思ったので参加しました。

司会：このチラシを見ておもしろそうだなと思った人っていうのが、すごく少ないのですよ。まちづくりに参加しませんかといっても意味がわからないといわれます。

友だちにはこの活動のことを話している人はいます？

高崎明日香：時々会話に出る感じです。

司会：その友だちには何て言われる？

高崎：よくわからない活動だねって言われます。

司会：だからそれをどうやってわかりやすく伝えるかというのが問題だと思うのだけど。山部さんはお友だちに話すことありますか？

山部：たまに。土日、こんなところに出かけたんだよ、っていう時に言います。

司会：その友だちは何やっているってわかってきてますか？

山部：今回もチラシとか教室に置いたりしたので、読んだ人はわかると思います。

司会：参加しようよって言ったらのってくれる子はいるかな？

山部：多分いないと思います。

司会：それはどうしてなのかな？

山部：みんな塾で勉強ばかりしているからです。

司会：直枝くんみたいに暇だったら来てくれるかもしれない？

山部：暇な人は、来てくれると思います。おもしろいと思って。

司会：みんな時間がないということかなあ。

山部：きっとそうだと思います。

司会：山部さんはこの活動でいろんなアイデアを出すのが大好きになり、学校でもアイデアを出すのを頼られるようになったんだって？

山部：一応、運営委員会、児童会みたいなものに入っていて、意見では1番目に当てられます。

司会：アイデアが出るようになって良かったですね。私は海の森・山の森の活動にはいかなかったので

わからないのですが、彼女たちのアイデアがどんどん出て、浦島の話が收拾しきれないくらいだった
そう。

NPO 法人海の森・山の森事務局：そうなのです。普通**大人が考えない発想でボンボンくる**のが、大人
の私たちは頭がガチガチになっちゃっているのでしょうね。そういう意味では柔軟性を帯びた頭でい
ろんな提案をして下さるので、私たちにしてみると、ええ？っていうような展開が多々あって、ただそ
の**飛び出て来た案を最終的にどうまとめていくかっていうところが大変**でしたが、そのアイデ
アは豊富にいただけだと思います。

司会：この活動をどうやって伝えたらわかりやすいのか、子どもがまちづくりに企画からの参画するこ
とに関して、子どもたちにとっては社会性につながり、自分の成長に役立っていくだろうし、まちづく
りの方にとってはすごく刺激になったり、新たに何か子どもたちとの接点を見つけたりするというよう
なことがあるのですが、どのように伝えていくとわかりやすいかというのをすごく悩んでいて。
一つには皆さんまちづくりの方たちの、話の中でたくさんあったのが、今までの活動の一覧でもいいか
らそれをいつも活動する時にイベントの会場とかに掲示して、スタッフの人もみんなそれを見たらだ
いたいわかるみたいなのが1枚あると良いのかというようなことを言われています。そういうものが必要
なのかなと思いました。

民家園も3年も参加されているのですが、私たちから見るともっと参加させたいのだけど、民家園の方
たちの、スケジュールの中で、どれだけできるかという折り合いとか、かなフィルさんもそうなの
ですけど、もっとアイデアをどんどん出しても良いのだけど、でもどこまでできるか未知数だから、こ
ちらも出しにくいとか、そういった点でどこまでいかれるかっていうのが難しくて。

民家園などは、スタッフたちはよくわかっているけど、実際の**ボランティアの方たちとか、当日から
いらっしゃる方は子どもたちが何でスタッフにいるのかわからない**みたいなことが起こります。
よくわからない中でトラブルまではいかないんですけど、そういうことがあるかと思うんですが。

都筑民家園：そうですね、私の中ではまちづくりで民家園のような活動をやっているのですが、ボ
ランティアのメンバーの方からすると、いろんな行事があって、それぞれの立場で参加していると。地
域アクターの話も言葉ではできるのですが、実際にやられる時はアクターの皆さんがお忙しいので、
直接的に交流する機会が少ないです。少ない中で限られた時間の中だと、うまく伝わらない、
それが当日ぱつと顔を合わせて、進んでいくというのだと、3回もやってきたのに、なかなかうまく伝わ
ってないという我々のジレンマもあります。

先程来聞いていると、メンバーの時間を全部合わせて、話をするというのはなかなか難しいのかなとい
うことであれば、アクターの子どもの時間スケジュールで会える時に、手段はいろいろ今の世の中
あると思います。(ITを使うとか?) 我々、どうしても話し合いというのを昔ながらのやり方で
やろうと思っているのですが、そのやり方を工夫すればできるのかなと。

それともう1つは、我々の場合、1年ぐらい前からおおよそ予定を決めるので、そういうふうを決めてしまうと、ある程度いろんなものが決まって来た中で、何を手伝ってもらおうか、というような仕組みになってしまっているの、そういうところも我々の中でも少し変えていかなければいけないと。1番最初にお話があったようにそれぞれの団体ごとに、**マンネリ化してきたり、あるいは時代とともに変えたい**というようなところ、**それを考えようという懐を持たない**といけないのかなと思われました。ぜひこの地域アクターのこの活動がどんどんつながって行って、我々のようないろいろなイベントやっていると子どもたちのアイデアをもらえて、それが長続きして欲しい。コーディネーター役の人とのネットワークをもう少しゆったりと作っていくのも大切なのかなと。単なる事務局じゃなくて、**コーディネート役の事務局が子どもと活動の間を繋ぐ役割**というのがますます大切になってくるのではないかなと。そういう面も期待したいと思います。

NPO 法人海の森・山の森事務局：ちょっと1つ意見を。まず、このチラシをもらった時にこれ何？っていうのは、「特命子ども地域アクター」というネーミングです。これはもう1年間、やってくるとどういうことをやっているかっていうのは、私たちはわかっているの、不自然には思わないのですけれども、最初に聞くと、これ何なのっていう説明が必要になってしまう。たとえば一発でぼんとわかるネーミングだともっと浸透性が良くなるのかな、というのがひとつ。

それからもう1つは、これは協力して下さったアクターの方たちが忙しい忙しいって、塾があるだの何だのっていうところが、その活動のネックになっていると思うのですが、**これたとえば学校がもっとこの活動に対して推してくれて、もっと積極的にこういうことがあるから参加しなさいみたいな形が取れるようにならないのかな**。たとえばこのアクターの活動に参加すると、いやらしい話だけでも、受験の時の、内申書の中に1つメリットが生まれるとかというと、単に塾に通わせるよりもこのアクターで活動させて、社会との触れ合いやいろんな人たちとの触れ合いを通じて大人になっていく過程をそこで築けるみたいなのところに入っていけたら、もっと発展、浸透していくのではないかなと思っています。

百崎：内申のためというものがちょっとえー？と思ったのですが。実は僕、〇〇委員会の委員長を学校でやっていたのですが、そのつながりで他の生徒に何で会長をやったの？って聞いたら内申のためっていう人がいた。そういう参加の仕方だとやっていけば、**肩書きがあれば、やったという実績になってしまう**というのがいやだなと。**本当にやりたい人がやるべきなのかな**と思ったので、アクターも内申のために来るよりは、ちゃんと目的があって来て欲しいなのというのが願いです。

司会：長岡さんにも聞いてみます。長岡さんは小学校の時から活動しているのよね。

長岡：私の地域だけかもしれないのですが、近くに商店街があって、子ども会とかでお祭りを開催して手伝いに行くと、お祭りの中の無料チケットを新たに追加してあげますよとかあったり、私は学校の生徒会に入っているのですが、生徒会と商店街の人たちと話し合っ、小さい子たちを対象にしてイ

イベントを開催したり、小学校、中学校と大人の方たちとまちづくりに参加するっていうのは、結構ありました。

司会：長岡さんはネットで見つけて応募してくれたのよね。お友だちは商店街のお手伝いにもみんな参加しなくなっちゃったのだったって？

長岡：部活とか、勉強があるからです。私自身も塾とか検定とかあって、参加が困難なことがあったのですが、部活とかの方を優先してしまうらしいので、小学校に比べたら中学校になってまわりの人たちの積極性がなくなったなあとは感じています。

司会：折谷さんはこのアクターに参加して自分が変わったという点はなんですか？

折谷：自分のどこが変わったかというと、活動で人と話す機会が多かったから、人と話すことが得意になったかなと思います。

司会：今までは人と話すのが得意ではなかったけど、この活動で得意になったということですか。参加してもらった活動の名前を言ってもらって良いですか。

折谷：ライフ&シニアとかなフィル。

司会：かなフィルは何が楽しかったですか。

折谷：ありがたいのパネルをステージで広げたことが楽しかったです。

司会：他にもチラシも作ったり、それを配布してくれたのだけど、会場で知らない人にチラシを配るのは難しくなかったですか。

折谷：それも楽しかったです。

司会：山北からきてくれている 2 人に聞きます。遠くから横浜の保土ヶ谷のごうといちという活動に参加してくれましたが。

三木：参加した日は雨で、あまり人もいなかったのですが、そこにいる人たちだけすごく盛り上がって、良かったと思います。

司会：彼女から、山北にも人いないけど、保土ヶ谷の町も全然いないって。それは雨ということもあったのですけど。

もう 1 人山北から来てくれた亜仁多さんにも聞きたいのですが、保土ヶ谷のお祭りにもう少し人が来てもらうためにはどうしたら良いかというのを教えてくださいませんか。

高橋：駅からのイベント会場への道がわかりづらかったので、だからもう少し地図があったり、もっと盛り上がる企画があっても良いと思いました。

司会：この間私には、**山北の名産をぜひ保土ヶ谷で売り、保土ヶ谷の名産物を山北で売ってみたい**と言ってくれていたの、そんなことが彼女たちを通じて生まれたらいいですね。山北にはおいしいものがたくさんあるし、保土ヶ谷もすごくおいしいものがあります。

高橋：やはり自分でも食べている、**昔からのミルクせんべい**がとても印象的に残って、味とかも中にアイスとかあずきとかもジャムとかも入れて、とても楽しい企画でとても印象に残りました。ありがとうございます

司会：サフワンくんはどうしてこの活動に参加しようと思ったの？

サフワン：岩室さんが別でやっているジュニア記者を新聞で見つけて、そのあとに岩室さんにメールで誘われたから。

司会：きつとおもしろいことをやってくれるだろうと思ったから誘ったんだけど。

サフワン：もともと町をもっと活性化させるとか、**営業とか活性化させよう**と考えていたのですが、**そういう機会がなくて、これを誘ってくれたのでやってみよう**と思って。

司会：伊勢原にも行ったのよね？伊勢原の町はどうでしたか。

サフワン：町の人たちが、とにかく人情が厚いところです。いろいろな人が協力してくれて。**そこの祭りでかき氷屋をやっていたおじさんが、一緒に僕たちの企画を手伝ってくれたり、そういうこともあったので、良いところだ**と思いました。

司会：黒川さんは、SunSun マルシェはどうでしたか？

黒川：小さい子と触れ合う時間が多かったなと思います。**全く小さいお子さんと触れ合う機会がなかった**ので、**初めての経験で戸惑うこともあった**のですが、小さい子どもがレジャーシートに絵を描いて、オリジナルのレジャーシートを作ったというのがすごく楽しかったですね。

司会：まちのことが本当に好きな人がたくさんいるっていうふうに思ったって言ってましたね。

黒川：そうですね。

司会：この活動に参加してそういう人がいるって知ったのかな？大学はどのような方面に行くの？

黒川：国際関係の大学にいかようと思っています。

司会：今度は大学生だからアクターは卒業だけど、アクターの経験はどうでしたか？

黒川：最初はボランティアというのは人のためというイメージが強かったのですが、今回のアクターに参加してみて、人のためじゃなくてやっぱり自分が成長できるところなのじゃないかなってというのがいちばん感じられました。

司会：吉岡さんは、申し込んでくれたのだけどなかなか参加できなくて、時間が合わなかったのだけど、でも銅管通の会議にも参加したと思うけど、アクターの活動はどうでしたか？

吉岡：結構アルバイトしているので忙しいんです。

司会：ではアクターにはなぜ参加しようとしたの？

吉岡：友だちに誘われました。加治さんです。

司会：少しでも思ったことがあったら言ってもらって良いですか。

吉岡：私も家の近くに商店街とかないのですが、ブツブツ交換のところに行って商店街はこういうところだと学びました。

司会：矢野くんは自分の紹介に「アクターレギュラー」って書いているのだけど、最初から参加していて、何年も参加していますが、どうですか。

矢野：やってきていろいろ町のことがわかってきたなと思いました。

司会：市大のまちづくり講座に関して。もう何回も参加しているから、関内じゃなくて別のところを歩きたいって言っていたよね。具体的にはどの辺？横浜以外？

矢野：具体的にないです。もう少し歴史がなさそうでありそうな場所が良いです。

司会：加治さんは22回という参加数が多いのだけでも、やってみてどうでしたか？

加治：打ち合わせの時点では、人通りがあまりそこまでは多くない場所が結構多かったですけど、イベント当日になるとどこも人がすごく多くてやりがいがあったという感じでした。

司会：加治さんはこの活動にどうして参加したのですか？

加治：もともと違うイベントのスタッフをやっていたのですが、そこで岩室さんに第1回の報告会のお手伝いをさせていただいて、そこから広がっていきました。

司会：加治さんは、将来はどんな人になろうかなとか夢はありますか？

加治：やりたい職業というのが、舞台やドラマの大道具をやりたいです。

司会：福永くんは、どうしてアクターに参加してくれたのだったけ？

福永：ネットでチラシを見た時に、写真に知っている百崎がいたので、知っている人がいるならやりやすいかなと思って。

司会：実際にやってみてどうでしたか。

福永：すごいですね。

司会：何が？感想では山北商店街の人たちがとても話しやすかったとっていたよね。

シャーロックホームズでは、会議がいきなりスーツの人がずらーっという、自分は短パンで来ちゃってえーと思ったというのと、シャーロックホームズは一生懸命準備したのに、当日はグダグダだったとっていたよね。

福永：いろいろと考えていって、ステージに上がって紹介した割には、自分のやった企画があまり良くなって、あれ？って。

司会：要はニーズと自分の考えたものが合わなかったということかな？

思っていたよりも子どもの年齢がすごく小さくて、クイズもなかなか小さい子にわからない難しいクイズを考えてしまったり。一生懸命考えていったのに、役に立たなかったってすごいがっかりしている様子だったのだけど。

時間が押してきてしまいました。

推進会議の皆様にお話させていただいてよろしいでしょうか。

かながわ子どもの社会参画推進会議

神奈川県青少年課：

神奈川県青少年課の山田と申します。今日はこういう成果発表会を聞かせていただいて本当にためになりました。アクターの子どもたちと団体の皆様のお話を伺っていると、この取り組み、子どもも大人も地域も元気にする、とても良い取り組みだなと思っております。私も鋼管通り商栄会のイベントに参加させていただきまして、レジ係をやらせていただいたのですけれども、レジに行列ができた時には、どうしようかなと思うぐらい本当に焦ってしまって。そんな時にアクターの子どもたちはうまくフォローしてくれて、どっちが手伝いに来たのかわからないような状況もありました。本当に楽しく参加させていただきました。こういった取り組みを継続してやっていくことが大切だと思いますので、今後もミニシティさんはじめ、皆様と協力をしながら、神奈川県も一緒に取り組んでいきたいと思っております。今日はありがとうございました。

横浜プランナーズネットワーク：

横浜プランナーズネットの山路です。

今日まちづくりということを普通の人に知らせるということが、いかに難しいかということが出ていたと思いますが、たとえば今日まちづくり団体の方々は子ども地域アクターがこの活動の取り組みに加わると、その取り組みはどう変わるのだろうという事をたくさん教えて下さったような気がします。たとえば1つ2ついうと、かわいくなるとか、やりっ放しにならないとか、場が明るくなるとか、きめ細かくなるとか。その他諸々たくさんありました。そういうことをチラシなんかで素直に伝えたら良いのかな。

逆に子どもたちの方からは、アクター自身がどう変わるのかということがたくさん教えてくれました。会ったことのない人に会えるとか、みんなの役に立てるとか、とにかく楽しいとか、人を幸せにできるとか。自分がメモしただけでも30ぐらいありますけれども、自分自身がどう変わるのかということ、気持ちがどう変わっていくのかというようなこと、そういうアピールもいるのかなと思って聞いていました。

リスト株式会社：

リスト株式会社の広報課の松本と申します。今日はこの場に参加させていただいて、大変有意義でした。2時間もみっちりありまして。

私ども不動産会社なのですが、不動産会社はどうしても地域と関わっていく必要があります、1年目からこの推進会議の最後の名前に連ねさせていただいております。3年間携わらせていただいているので、感じたことなのですが、いろいろなものがすごく噛み合い始めたなというのと、サイクルができてきているというのが実感です。たとえば、今までもしっかりしたアクターの方が多かったのですが、すごく積極的な部分が目立ってきていて、それぞれ皆さんが益を感じてらっしゃる。受け入れる方たちに関しても非常に喜んで受け入れていただいて、結果も喜ばれていると、そこでアクターの方と地域なり、団体なりとのサイクルができていくと。あとは、どなたかアクターの方がおっしゃっていただけども、人のためだと思っていたら結果自分のためだったと。これも個人の中でサイクルが回り始めていて、やはり3年間、続けてこられた事務局や、参加されたアクターや、団体の方々の方だかと思います。なぜこんなこと言うかという、私ども企業で結構、手前味噌ですけど少年スポーツとか応援しているのですが、やはり一番偉いのは多分指導者の方だと思うのです。毎週毎週指導して。もちろんお子さんも頑張るのですが、それを周りの方が支えて。では企業でできることは何だということ、ちょっと名前を知ってもらうために優勝商品を出すとか、その大会のちょっとしたお手伝いをするというようなことをやっています。地域をまわって、子どもという目に見える未来が育っていくということに、今後とも携わらせていただければと思っております。今日はありがとうございました。

神奈川県青少年課：

県の青少年課、吉田と申します。いっぱい話がありましたので、県がしゃべるのもどうかと思ったのですが、とても感動しております。まさかこんなにすごいイベントに成長しているというふうには思っていなくて、素晴らしいと思います。

ただ、いろいろと改善しなければいけないところもあるということなので。

この今日の会の方向は良いですね。あまり年齢を感じないというか、子どもたちの方が大人よりしっかりしているとか、そういうところもあったし、素晴らしい交流だと感じています。

青少年課としては、子どもの社会参画を大きなテーマにしています。なぜかというと、今の子どもたちは、(彼らは違うと思いますけど) なかなか世の中とか社会というものの実体験するのが少ないという指摘があります。

また、先程から商店街というのが身近にないというお話の中で、商売をしている大人となかなか触れ合う機会がなかったけど、行ってみたら楽しかったということでした。多分いろんなおじさんおばさんに会ったと思います。お父さんとかお母さんとは違うような、いい加減な人もたくさんいたと思いますけど、世の中それででき上がっているっていうことを彼らが知るということが大事です。

また大人側も今、子どもと付き合うのは大変なのですね。忙しくて、日程調整も大変だったり。だけどそういう事を乗り越えて、子どもと大人と一緒に社会を作っていくって、どうやっていったら良いのかというのを、やはり子どもの社会参画という形でまず手を差し伸べていく、それを応援しているのが神奈川県青少年課です。

大人側の手を差し伸べていただいたので、こういう両輪でまたどんどん良い世の中とか、地域社会ができていったら良いのかな。それを我々もずっと応援していきたいと思っています。

最近、「懐かしい未来」という言葉が僕はすごく好きで、我々からすると、どちらかといえば商店街とかそういうもの懐かしいものですけど、彼らからするともしかして未来感のある、今まで経験したことのないような人との触れ合いとか、そういうものが感じられる未来感がある場所なのかもしれない。そういう意味で大人と子どもにとっての未来、子どもにとっては未来ですし、大人にとっては「懐かしい未来」として、そこに共通のコミュニティみたいなものが青少年養成として、目指せないかなということも思って、この取り組みを応援していきたいと思っています。あまりにも感動したので、長い話をしてしまいました。ありがとうございました。

NPO 法人ミニシティ・プラス理事長三輪：

今日は長い間、ありがとうございました。私も 3 年目を見て考えていたのですが、1 番最初は多分、子どもたちも受け入れ団体も初めてだったので、何かよくわからないまま楽しく終わったみたいな状態で、去年の成果報告会の時には、ちょっと子どもの可能性に気が付いたみたいな、何となくそういうコメントが全体的に多くて、結構やってもらえるのではないかと、という話から、もしかしたらアクターじゃなくても、地元の子どもたちにもう少し関わってもらえるような機会も考えられるのではないかなという発言が、多分去年の団体の方々から出たと思うのですが。

今日はさらにもう 1 歩いって、いろいろなキーワードの中で団体の方から話があったのは、企画、最初から任せても大丈夫なのではという感覚が滲みに出たと思うのですね。むしろ最初から入ってもらわないと、子どもたちの可能性を引き出せないみたいな話がちらちら出ていたような団体さんもいらっしやっただと思います。

日本ではこういう形での子どもの参画、というのはあまりないと思います。子どもの社会参画ということ自体がそれほどまだ、どちらかというところ、子どもをお膳立てしないと成立しないと皆さん思っているかもしれないのですが、**もともと失敗しても良いというふうに大人が踏ん切りさえ決めてしまえば、ある程度任せてしまえば、結構、ばあっと飛躍する**みたいなことが、チャンネルとして合うかどうかというところだと思うのですね。

それがうまくいくかいかないかというのは、結構、間に立った事務局もそうですし、子どもたちの調整もあるし、**お互いのミッションみたいなものがうまく合致すると、すごい歯車としてうわっと進む**というのがすごく見られる機会が今回は、いくつか出てきたなと私は思っていて、会を重ねる毎に、まさに話していた子どもの可能性というものがさらに伝わっていき、次のステップに進んでいるというふうに、ものすごく今日、確信したので、3年続けたこどもたちは、そろそろまちづくり講座、飽きたという話もあるので、次のステップも考えながら、ぜひ子どもたちの可能性を次に活かしていくというところにステージを上がっていきたいと思っておりますので、今後とも支援のほどよろしく願っています。

司会：このアクターに参加した子たちが地元に戻り活動したり、参加した地元でさらに他の子どもたちを巻き込んでいくみたいなことが、できていけば、いまは少ない人数ですけど、神奈川県の中で広がりが出てくる、と私たちも思っております。

そのうち、まちづくり団体のこの事業への参加の人気が出て、抽選しなければならないぐらいになって欲しいなって、私たちは思っております。

一応、これで終わりなのですが、会場からもし質問があるような方がいらっしゃいましたら、ぜひ交流会の中で私なり、団体それぞれなり、子どもたちなりをつかまえてお話いただければと思います。話しづらいなあという時は私に言っていただければ、つながります。

このあとの交流会では三浦の活動で商品化される人参とオレンジのドーナツがでますので、ぜひ味わってください。今日はありがとうございました。